

NTT西日本の研究開発の取り組みとR&D成果の実践的応用

NTT西日本研究開発センターでは、より多くのお客様に安心して便利にご利用いただける多彩なサービスを実現するための研究開発を推進している。本稿では、「実用化開発」と「提案型研究開発」の取り組み状況及び、R&D成果の実践的応用状況について紹介する。

はじめに

NTT西日本研究開発センターでは、質の高いサービスをタイムリーにお客様に提供するため、事業に密着した研究開発を行っているが、その取り組みは、お客様へサービスの安定的な提供と拡充を目的とした「実用化開発」と、フレッツ光ネクストの機能を活かした新たなサービス等を実現する基盤技術の創出を目的とした「提案型研究開発」の2つに大別される。

また、研究開発センターのNTT西日本グループ内でのあり方として、“NTT West Innovative Brains”という将来ビジョンを掲げ、自らの

研究開発スタイルを革新しながら更なる成果の価値向上を図るように「R&D成果の実践的応用」に取り組んでいる（図1）。

本稿では、それぞれの取り組みの概要について紹介する。

実用化開発

NTT西日本の光ブロードバンドサービス「フレッツ光」（インターネット接続サービス）は、平成23年11月に契約数700万回線を突破した。

研究開発センターでは、「フレッツ光」の普及拡大に貢献すべく「実用化開発」に取り組んでおり、フレッツ光ネクストを主な開発対象とし



NTT西日本 技術革新部 研究開発センター 所長 伊藤 新

て、更なる普及拡大に向けた新たなサービスメニューの提供・機能拡充の開発、お客様の増加に対応した設備増強の開発などを行っている。以下に我々の取り組み例を紹介する。

(1) 二段階定額サービス「フレッツ光ライト」の提供

『インターネットをこれから始めたいが毎月どの程度利用するかわからない』、『インターネットを利用しているが利用する機会が少ない』といったお客様のご要望にお応えするために、ご利用の通信量に応じた二段階の定額料金でご利用いただけるインターネット接続サービス「フレッツ光ライト」の開発に取り組み、平成24年1月から提供開始を予定している。

(2) 「フレッツ・ジョイント」の提供 アプリケーションサービス提供事

NTT West Innovative Brains

～先進技術を有し、サービス創造や社会ニーズに即応できる革新的頭脳集団～

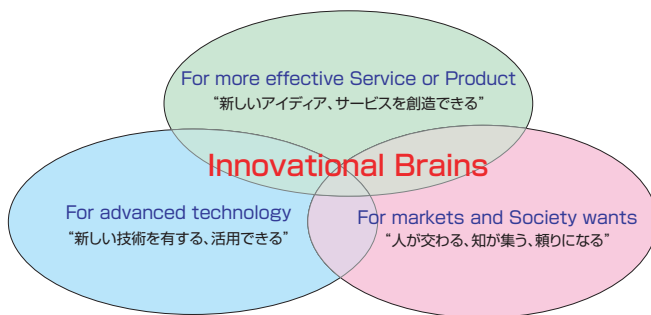


図1 研究開発センターの将来ビジョン

業者様からお預かりした「家庭やオフィスのデジタル機器にアクセス可能なソフトウェア」をフレッツ光ネクストを通じてホームゲートウェイに配信する「フレッツ・ジョイント」の開発を実施し、平成23年8月から提供を開始した。

サービス事業者様に、デジタル機器とインターネット上のアプリケーションサービスを簡易に接続できるサービス基盤を提供することで、新規ビジネスの拡充につなげている。

(3) IPv6 インターネット接続サービスの提供

これまで広く利用されてきたIPv4アドレスの枯渇に伴い、今後はIPv6アドレスを活用する必要がある。

従来のIPv4によるインターネット接続機能に加えて、IPv6アドレスによるインターネット接続機能の開発を実施した。

トンネル方式によるIPv6 PPPoE接続機能を平成23年6月から、ネイティブ方式のIPv6 IPoE接続機能を平成23年7月から提供を開始した。

● 提案型研究開発

「フレッツ 光ネクスト」の提供エリアは平成22年度末に既存光化エリアの100%をカバーし、更なるエリア展開を実施している。今後は高速で高信頼のフレッツ光ネクストの特徴を活かした高付加価値サービスをお客様に提供することが求められる。我々は将来のお客様の要望を先取りし、新しいサービスの実現に向けた「提案型研究開発」に取り組

んでいる。

具体的には、クラウドやスマートコミュニティサービスの研究開発を推進するとともに、今後のトラフィックの変化に対応するため、柔軟性と経済性を両立するネットワークの検討を行っている。

(1) クラウドコンピューティングの推進

NTT西日本グループは平成23年3月に「Bizひかりクラウド」サービスを開始し、クラウドビジネスに本格参入した。研究開発センタでは長年培ったNW・サーバー開発技術をもとにユーザーの立場に立った「NTT西日本グループならではの」クラウドサービスを提供するための技術開発に取り組んでいる。

(2) スマートコミュニティの実現

NTT西日本グループは地球環境保護を企業としての重要な責務と捉え、環境経営を推進している。研究開発センタでは低炭素型ライフスタイルを目指すスマートコミュニティ構想の実現に向けた様々な研究開発に取り組んでいる。

(3) 新しい価値を提供するネットワークの検討

クラウドサービスの浸透、スマートフォンの爆発的な普及およびインターネット上の映像配信の広帯域/高品質化等によるトラフィック増へ対応するため、研究開発センタではアーキテクチャー変更も視野に入れたネットワークの高度化に取り組んでいる。

さらに、NTT西日本グループは、フレッツ光の普及拡大とARPU向上に向け「フレッツ光×Wi-Fi」をコンセ

プトに、Wi-Fiを中心とした「家デジ」サービスの充実化を図っている。このような状況を背景として、研究開発センタでは、公衆無線LANのアクセスポイントからフレッツ光サービスを利用可能とする技術や、宅内および公衆無線LANにおいてWi-Fi接続をより簡易に行うサポート技術、及びWi-Fi普及時に想定される電波の混雑による通信品質劣化を抑制する技術等、より便利で快適な「フレッツ光×Wi-Fi」サービスの提供を実現するための様々な研究開発に取り組んでいる。

● R&D成果の実践的応用

研究開発センタでは、研究開発の実践フィールドとしてオフィスエリアにおいて「R&D成果の実践的応用」に取り組んでいる。

具体的には、先進技術を活用した研究開発成果をオフィスエリアに取り入れ、①開発成果を活用する、②開発成果を見せる、③先進的研究開発を支える、ことができるよう実践的に応用している。

この取り組みを行うことで、業務スタイルの転換や生産性向上による効率化を図るとともに、R&D施策をラボレベルで終わらせることなく、サービス化に向けた運用上の課題抽出とその改善策についてR&Dへフィードバックを行っている。

お問い合わせ先

西日本電信電話株式会社
技術革新部 研究開発センタ
TEL：06-4792-8404

続きは本誌でご覧下さい。